

令和5年度 事業計画

特定非営利活動法人 長野サマライズ・センター

令和4年10月1日から令和5年9月30日まで

1. 事業の方向性

SDGsのゴール4「質の高い教育をみんなに」を、継続して目標に掲げた事業を行う。

- 若手の支援人材の確保が難しく、活動を広げることが難しくなっている。
「教育現場への情報支援」に注力し、継続可能な体制づくりを目指す。
- 筑波技術大学、松本歯科大学、信州大学などの高等教育現場と連携し、かつ現会員や寄付者のお力をお借りしながら、支援対象者の掘り起こし活動を継続して行う。
- 全国の小中高等学校を含め、一人でも多くの難聴の生徒の支援の実現に、引き続き、力を注いでいく。
長野県内の公立高校に在籍する
難聴学生の支援への参画を続け、支援者の全国ネットワークをより充実させることに取り組む。
- 支援対象者のニーズは、複雑化・多様化・深刻化しており、少しでもその解決につなげるため、支援の質の改善、新たな支援方法の発見と改善に取り組む必要があるが、そのためには、市民団体、企業、行政機関・教育機関・医療機関など、多様な組織と手を取り合い、継続した情報収集活動を行う。
- 地域行政からの安定的な委託事業に関しては、より質の高いニーズに応えられるものにしていくため、人材の発掘や育成を継続していくとともに、就労機会提供の一翼を担っていく。

2. 事業実施に関する事項

○ 特定非営利に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
パソコン要約筆記通訳者の 派遣を行う事業	要約筆記委託事業	R 4 .10.1 ~R 5 .9.30	事務所、 県施設、各市町村施設	20名	全国 3000名	300
パソコン要約筆記通訳の人 材発掘と育成事業	養成講座実施・勉強会 の運営	R 4 .10.1 ~R 5 .9.30	事務所、遠隔、大学 長野、塩尻、明石	6名	長野県を中心とする全国 100名	200
IT技術の福祉分野への活用 を推進する事業	情報収集と提供	R 4 .10.1 ~R 5 .9.30	事務所等、WEB	4名	全国活動者・支援団体、企業等 1000名	200
要約筆記・パソコン要約筆 記についての相談と助言に 関する事業	全国パソコン通訳者の ネットワーク化	R 4 .10.1 ~R 5 .9.30	事務所等	4名	全国活動者・支援団体、企業等 200名	700
障害者・青少年の生きがい 作りと人材育成事業	教育現場での授業サ ポート	R 4 .10.1 ~R 5 .9.30	筑波技術大学・信州大学 全国小中学校	20名	聴覚障害児童・ 学生 350名	1600
	テープ起こし データ入力	R 4 .10.1 ~R 5 .9.30	事務所等	12名	地域住民 市町村等 150名	3000
	助成事業	R 4 .10.1 ~R 5 .9.30	全国各地	20名	聴覚障害者・児 全国活動者等 200名	1000
その他、目的達成のために 必要な事業	PR活動	R 4 .10.1 ~R 5 .9.30	事務所等	6名	依頼側、参加者 聴覚障害者、市民 7000名	300
	助成事業等	R 4 .10.1 ~R 5 .9.30	事務所等	4名	依頼者、参加者、 聴覚障害者等 1000名	700
一般管理費	事務作業等 諸経費	R 4 .10.1 ~R 5 .9.30	事務所等	4名	30名	600